

オンライン土木博物館 「ドボ博」のオープン

土木図書館委員会は、2016年8月8日に、土木の全領域をカバーする日本初のオンライン博物館「ドボ博」をオープンした(<http://www.dobohaku.com>)。ドボ博は、「いつものまちが博物館になる」をキャッチフレーズに、地球全体を土木の博物館に見立て、独自の映像作品と土木図書館が所蔵するデジタルアーカイブを活用しながら、土木の魅力に迫っている。

現在、オープニング企画として、「東京



写真 オープニング企画「東京インフラ解剖」

インフラ解剖」を開催中である。本展では、東京のインフラストラクチャー88件を選び出し、それらを人体と関連付けながら多

角的な見方を提示することで、東京という巨大で複雑な有機体を「解剖」している。

また、土木分野の方でも、そうでない一般の方でも、それぞれの楽しみ方ができるよう、次のような工夫を施している。

- 複雑に発展した東京のインフラを人体器官に喩えて解説。
- 土木学会のアーカイブだけでなく、東京都、首都高、国土交通省、東京メトロなどの協力を得て、初公開の貴重な図版資料を多数紹介。

- 地形と空撮写真を比較できる「レントゲン写真」の作成。
- 橋マニア、鉄道マニア、スリパチマニア、壁マニアらによる「マニアック座談会」の開催。

- スマホで「ドボ博」を持ち歩き現地へ誘う、「東京インフラ88箇所マップ」の作成。

なお、11月21～24日に新宿西口広場イベントコーナーで開催される「東京の橋」「土木コレクション2016」の会場で、ドボ博関連の映像も流す予定である。

(土木図書館委員会ドボ博小委員会 北河大次郎)

土木学会の本



トンネル・ライブラリー 28 シールドトンネルにおける切掘げ技術

シールドトンネルからの切掘げは、地下駅、地下高速道路の出入口、換気・排水塔との接続等の特殊な条件下で用いられ、適用事例も増えています。一方、設計・施工方法は個々の事業者で独自に検討されているのが現状で、今後統一された考えに基づく基準化への取組みが望まれています。本書は、設計・施工事例を収集・分析し、力学的メカニズムや設計・施工上の留意点、今後の展望を整理したものです。本書がこの分野に携わる技術者に、広く活用されることを期待しています。

- 編集：トンネル工学委員会 技術小委員会 シールドトンネルにおける切掘げ技術検討部会 (部会長：小西真治)
- 2015年10月発行、A4判、208ページ、並製本
- 定価：3,240円(本体3,000円＋税)→**会員特価：2,920円**※注
- 送料：470円
- ISBN 978-4-8106-0888-5

注文・問合先
土木学会 出版事業課 書籍販売係
TEL 03-3355-3445 / FAX 03-5379-2769
■Web注文 <http://www.jsce.or.jp/publication/>
■FAX注文 WEBサイトの「FAX注文書」をご使用ください

丸善出版(株)
TEL 03-3512-3256 / FAX 03-3512-3270
※注) 丸善出版への注文には会員特価は適用されません